

ユーゴスラヴィア連邦共和国

ベオグラード市公共輸送力復旧計画

基本設計調査報告書

平成14年3月

国 際 協 力 事 業 団

八千代エンジニアリング株式会社

序 文

日本国政府は、ユーゴスラヴィア連邦共和国政府の要請に基づき、同国のベオグラード市公共輸送力復旧計画に係わる基本設計調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施いたしました。

当事業団は平成13年11月12日より同年12月13日まで基本設計調査団を現地に派遣しました。

調査団はユーゴスラヴィア国政府関係者と協議を行うとともに、計画対象地域における現地調査を実施しました。帰国後の国内作業の後、平成14年2月14日より同年2月26日まで実施された基本設計概要書案の現地説明を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成14年3月

国際協力事業団

総裁 川上 隆朗

伝 達 状

今般、ユーゴスラヴィア連邦共和国におけるベオグラード市公共輸送力復旧計画基本設計調査が終了いたしましたので、ここに最終報告書を提出いたします。

本調査は、貴事業団との契約に基づき弊社が、平成13年10月より平成14年3月までの5ヶ月にわたり実施いたしてまいりました。今回の調査に際しましては、ユーゴスラヴィア国の現状を十分に踏まえ、本計画の妥当性を検証するとともに、日本の無償資金協力の枠組みに最も適した計画の策定に努めてまいりました。

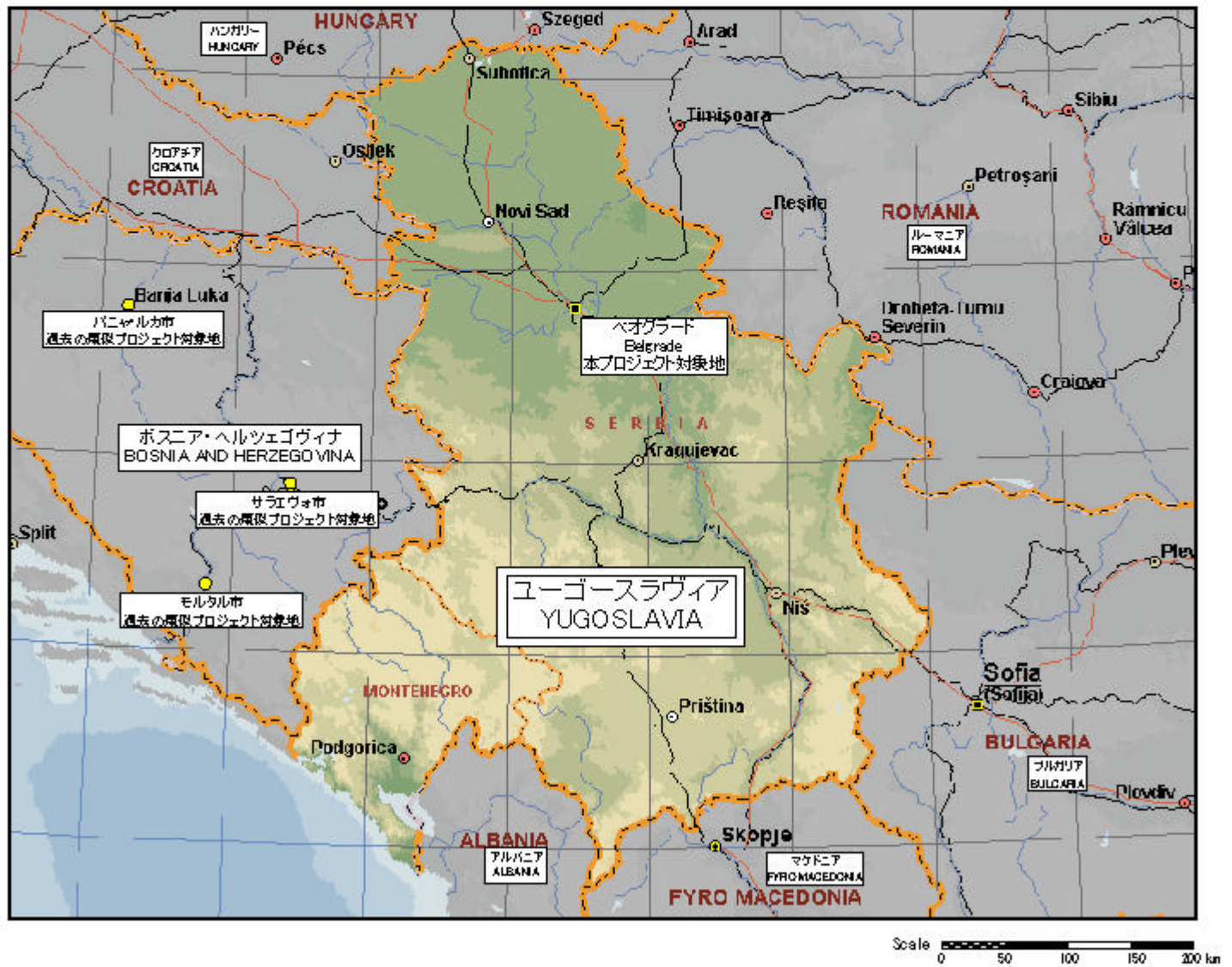
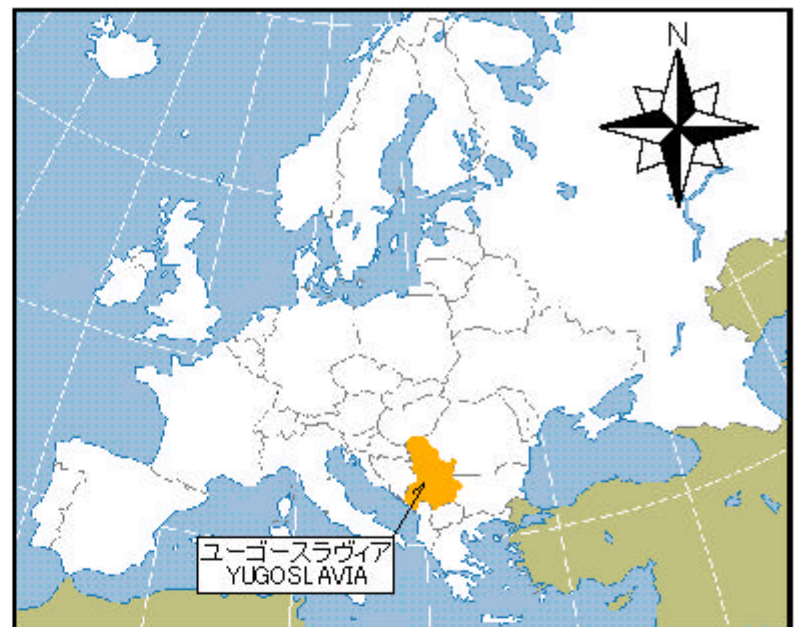
つきましては、本計画の推進に向けて、本報告書が活用されることを切望いたします。

平成14年3月

八千代エンジニアリング株式会社

ユーゴスラヴィア連邦共和国
ベオグラード市公共輸送力復旧計画
基本設計調査団

業務主任 都筑 弘一



ユーゴスラヴィア国全図
MAP OF YUGOSLAVIA

本計画対象地域の状況(1)

ベオグラード市



ベオグラード市

史跡カレメグダンからドナウ河とサヴァ川の合流点を望む



ベオグラード市

史跡カレメグダンからドナウ河の向こうに新市街地を望む



ベオグラード市郊外の様子

17 番路線東側ターミナル付近の住宅群



ベオグラード市郊外の様子

17 番路線東側ターミナル付近の風景



GSP のバス

16 番路線の旧市街地を走行する GSP のバス



市内の道路状況

16 番/23 番路線とドナウ河に架かる橋の立体交差部(橋の左前方がドナウ河に通じる)

本計画対象地域の状況(2)

ベオグラード市



バスの行先表示板

運行バス路線の番号を表示している行先表示板



トロリーバスの運行状況

GSP が運行している老朽化が著しいトロリーバス(17 番路線のゼムンから市中心部方向へ向かう)



バスターミナル

16 番/23 番路線の東側ターミナルの様子



バス停留所

17 番路線のゼムンから市中心部へ向かうバスを待っている乗客



トロリーバスのデポ

GSP の本社裏にあるトロリーバスのデポ



路面電車の停留所

GSP が運行している路面電車の乗降風景